

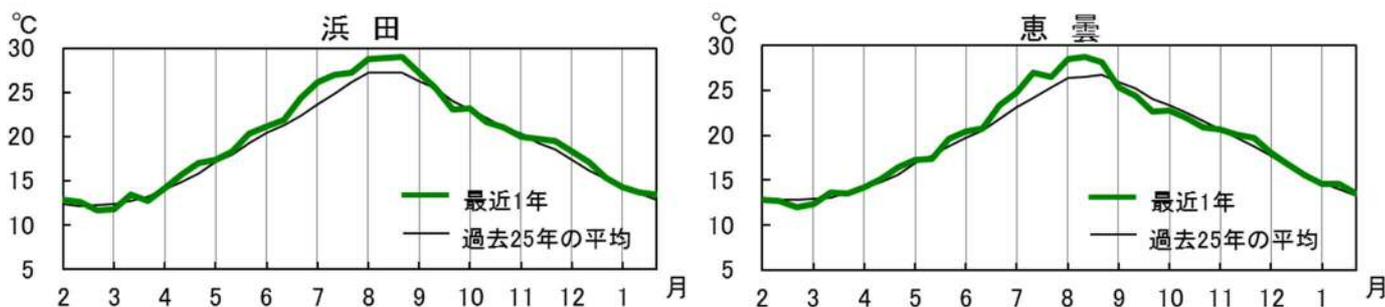


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《1月の海況》



1月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	13.8°C	+0.3°C	平年並み	14.2°C	+0.4°C
中旬	平年並み					
下旬	やや高め					



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の8割、サバ類は平年の1割でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は25.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは1,648トンで平年の1.6倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）では漁獲がありませんでした。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は44.5kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマフグ、キダイ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は14.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マフグは平年の8割、キダイは平年の1.1倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.2倍でした。その他、ミズダコは平年の8割、アカムツは平年の7割、アンコウ類、スルメイカおよびヤリイカは平年の6割、ムシガレイは平年の5割、ソウハチは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアンコウ類、ソウハチ、アカムツ主体の漁況で、総漁獲量は124トンでした。1統1航海当りの漁獲量は814kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウ類は平年の1.0倍、ソウハチは平年の4割、アカムツは平年の9割でした。その他、ヤリイカおよびムシガレイは平年の1.0倍、ニギスおよびヒラメは平年の8割、ヒレグロおよびアナゴ・ハモ類は平年の4割、アカガレイは平年の2割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は12.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.3倍、マアジは平年の1.9倍、サワラ類は平年の5割でした。石見地区ではブリ、カワハギ類、スズキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は1.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.0倍、カワハギ類は平年の6割、スズキは平年の5割でした。隠岐地区ではマアジ、スルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は8.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の6.7倍、スルメイカは平年の2割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は25.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の5割でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4割でした。隠岐地区では、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は25.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.2倍でした。

【令和5年1月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ブリ	1,650トン	55%	43%	25.8トン	66%	49%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	漁獲なし	—	—	—	—	—	—
	西郷	スルメイカ	0.5トン	15%	10%	44.5kg	48%	34%
沖合 底びき網	浜田	マフグ、キダイ、アナゴ・ハモ類	134トン	75%	58%	14.9トン	100%	105%
小型 底びき網	大田	アンコウ類、ソウハチ、アカムツ	124トン	74%	55%	814kg	96%	96%
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ、サワラ類	112トン	126%	105%	12.5トン	112%	96%
	石見	ブリ、カワハギ類、スズキ	3.6トン	22%	23%	1.8トン	22%	30%
	隠岐	マアジ、スルメイカ	17.8トン	78%	75%	8.9トン	117%	80%
釣り・縄	出雲	サワラ類	9.9トン	43%	37%	25.5kg	57%	61%
	石見	ブリ	7.3トン	43%	36%	22.2kg	69%	68%
	隠岐	ブリ	7.7トン	77%	62%	25.1kg	110%	83%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ